

7 月号
VOL. 479

土会奈良



SHIKAI
2014 NARA

表紙のことは

モンゴルのゲル



ゲルは円形のテントで伝統的な遊牧民の住居である。中国ではパオと呼ばれる。材料は羊毛のフェルト。1つのゲルを作るのに300頭くらいの羊の毛が必要だ。フェルトの両側はテント生地で覆って防水、防寒性能を高める。壁の構造材は蛇腹式になっており、折畳んで運ぶのに便利。

ひとつの場所の牧草を食べつくさないためにモンゴルの遊牧民は季節で放牧地を移動する習慣がある。移動の時期が来ればゲルを解体して牛車に乗せて移動する。現代生活を楽しめるようにソーラーパネルの電源でテレビを見たり、携帯電話を充電したりする。

ゲルの中の家財道具も非常に限られている。大量のものに囲まれた生活を改める「断捨離」が日本で流行しているが、遊牧民の生活は究極の断捨離の毎日。私たちのように「いつか必要になるからとりあえず取っておこう。」という発想では遊牧民は動まらない。

シンプルな構造であるが、細かい住み方の作法が決められている。ゲルに入るには右足から。男、女、客、子供の居るべき場所がある。二本の支柱の間は通らない、仏壇にはお尻を向けない。入口は必ず南側に向ける。ゲルのてっぺんから室内に漏れる太陽光で大体の時間が分かる。簡単な住居ではあるが、住まいの文化には深いものがある。作法も多いが、ゲン担ぎも色々あって面白い。

冬には零下30度になることも珍しくないが、ゲルの中央にストーブを置いて家畜の糞を燃料にして暖をとる。極端な乾燥で糞はすぐに乾いてしまっていて臭いもしない。ストーブはすなわち調理コンロでもある。主婦は料理の途中で、籠の中から糞を手づかみで取りだしてストーブにくべる。日本人の感覚で言えば許せない衛生観念だけど、彼らはそうして生きてきた。我々訪問客もそうして調理されたものしかなければそれをいただく。このコンロでは調理鍋を使って馬乳酒を蒸留してアルヒという強めの酒を造ることも出来る。

建築士なら是非モンゴルのゲルで遊牧民の生活を体験することを進める。住宅に必要なものは何か、根本からの問いの答えを見つけるために。

(記・阪本日出雄 国際開発コンサルタント (株)パデコ)

情報・広報委員会

委員長 松尾 憲治

副委員長 田上 圭吾 折目 貴司

委員 乾井 哲 岩城由里子

鷗山 治 大倉 克之

小松原寛俊 崎山 泰正

福西 保夫 福本 保治

藤井 靖彦 宮浦 重彦

Contents

001

「平成26年度 通常総会開催」

004

「奈良県建築士会 会長挨拶」
「各委員長挨拶」

006

奈良支部・天理支部
「東大寺国宝建造物その歴史と未来」 レポート
「竹中大工道具館・篠山城 見学」 レポート

007

奈良県地域デザイン推進課
「大和町家バンクネットワークの
総会と講演」 レポート

008

森林技術センター
第3回「木が木でなくなる話
「燃えない木材を創る」」

010

暑中見舞い
「参与会」

011

暑中見舞い
「役員有志」

012

奈良県住宅課
「十津川材普及促進建築士等登録
事業について」

013

住まいまちづくり委員会
住環境福祉部会
「和の住まいのすすめ講演会&
十津川復興住宅見学会」

014

支部報告
「各支部報告会」

019

お知らせ
「平成26年度 建築士試験日程の
ご案内」 他



平成26年度 通常総会開催



(一社)奈良建築士会 新会長 洲上徳光氏

さる5月20日午後3時30分より、奈良県文化会館にて平成26年度通常総会が、多数のご来賓方のご臨席を賜り開催されました。

まず物故者に対しての黙祷、引き続き会長挨拶、奈良県土木マネイジメント部まちづくり推進局建築課長・羽山宏様よりご祝辞を賜りました。議長に奈良支部・上村幸弘氏が選任され、出席者63名（委任状458名・会員総数1017名）参加の下成立、議事が行われました。

主な議事は事業報告・会計報告・予算等各議案全て慎重な審議の結果、滞りなく決議承認されました。又、第3号議案に於いて理事及び監事の選任についての案件も承認され、現会長 福本良平氏が退任され、洲上徳光氏が新会長に承認されました。

◆平成26年度 運営方針及び事業計画

【新会長挨拶】

長らく低迷が続いてきた建築業界に、ようやく明るさが見えてきそうな状況です。アベノミクスによる公共事業増に不動産市場の回復、2020年の東京五輪開催に向けた特需と好条件が重なっています。なのに業界は苦境にあるといわれています。資材高騰と人材不足という二重苦が原因です。「好況」なのに「苦境」、その内実からは蛇口を開け閉めするかのような政策に翻弄される業界の苦悩が浮かび上がってきます。また本年4月から消費税率の引き上げが施工され、まだまだ経済環境の動向は予想がつかません。このような状況下にあって奈良県建築士会も会員の減少や財政の逼迫等の諸問題が山積しています。

2011年3月11日に発生した「東日本大震災」さらに同年9月に甚大な被害をもたらした「紀伊半島大水害」などの大災害は日本列島に大きな爪痕を残し、私達は改めて自然の持つ驚異を感じさせました。

防災や減災まちづくり気運の高まり、そして建築士の業務は建物にとどまらず、周辺環境、地域環境、ひいては地球環境にまで配慮しなければならないのです。このため、建築士会は建築士に対し、それらの責務を全うするために必要な知識及び技能の向上を図るための研修を通じて、建築に関する研鑽の場を提供します。そして地域社会の健全な発展と人々が願う安全で快適な暮らしを創造する優れた建築士を育成しなければならないと考えます。

本年度は地域貢献への新しい事業開拓や会員増強を主軸取扱う委員会を明確にしに、本部、支部の積極的な士会活動を進めていきたいと思えます。昨年度からスタートした一般社団法人としての奈良建築士会、今後ますます本部・支部一体となって邁進したいと思えます。「地域の特性を活かしたまちづくりと建築の調和」を基本方針として下記の重点施策を遂行したいと考えます。会員皆様のご協力、ご支援よろしくお願い致します。

重点施策

1. 地域貢献活動の推進
2. 建築士会会員増強運動の推進
3. 建築士の資質の維持・向上施策の推進
4. 建築士制度に関わる事業の推進
5. 関係団体との連携協力

事業内容

1. 地域貢献活動に係わる事業
 1. まちづくり関係団体との協働
 2. 住宅相談会の実施
 3. 既存木造住宅の耐震診断事業への協力
 4. まちづくりアドバイザーへの協力
2. 建築士会会員増強に係る事業
 1. 未入会建築士への入会促進

2. 会員増強のための継続的運動の推進
 - 1) スチューデントメンバー制度の推進
(建築関連学校学生への建築士会活動への呼びかけ)
3. 各支部の増強活動への協力・支援
3. 建築士の資質の維持・向上に係る事業
 1. 建築士の講習・研修の実施
 - 1) 研修会・見学会の開催
 - 2) 建築関係図書の発行
 2. 継続能力開発制度の普及・推進
 - 1) 継続能力開発(CPD)の推進
 - 2) 行政及び他団体との協力体制及び活用の確立
 - 3) 市民等へのPR活動の推進
 3. 専攻建築士制度の普及・推進
 - 1) 未申請建築士への専攻建築士制度の啓発活動と申請要請、登録更新の推進
 - 2) 市民等へのPR活動の推進
4. 建築士制度に係る事業
 1. 建築士の登録事務
 - 1) 一級建築士の登録事務及び名簿閲覧の適正・円滑な実施
 2. 建築士業務環境改善
 - 1) 業務報酬基準・工事監理ガイドラインの周知等
 3. 建築基準法等関連法令への対応
 - 1) 建築基準法等改正への対応
5. その他事業
 1. 建築士試験の業務受託実施
 2. 建築士定期講習の業務委託
 3. コンペ「建築甲子園」の実施協力
 4. 建築関連情報誌「士会奈良」の発行
 5. 建築情報サイトの管理運営
 6. 建築行政への協力
 - 1) 「違反建築防止週間」「建築防災週間」「まちづくり月間」事業
 - 2) 奈良県被災建築物・宅地応急危険度判定事業
 - 3) 奈良県住宅・建築物耐震化促進協議会
 - 4) なら安全安心住まい・まちづくり協議会
 - 5) 奈良県県産材関連3協議会
 - 6) 安全やまとまちづくり県民会議
 - 7) 新住生活ビジョン推進事業

◆終身会員認定

平成26年度 新規終身会員該当者 2名

濱西健二郎：奈良支部 西崎平治：桜井支部

◆懇親会

会員、賛助会員、行政や関係団体からの来賓様多数参加で懇親会は会場を移しての開宴です。

洲上新会長の挨拶に続き、前会長福本氏に花束贈呈、梶岡 優光・奈良県土木マネイジメント部まちづくり推進局建築課長補佐様、(公社)大阪府建築士会会長 岡本森廣様の祝辞を頂きました。次に、ご来賓様のご紹介、祝電の披露があり、植村吉延・奈良県建築士事務所協会会長の乾杯の発声で開宴しました。宴は和気藹々の雰囲気が始まり、和やかなままに井上副会長の一本締めで閉宴となりました。

(記・松尾憲治)



奈良県土木マネジメント部
まちづくり推進局建築課長・羽山 宏様



議長：上村 幸弘氏



総会風景

正味財産増減計算書

平成25年4月1日 から 平成26年3月31日まで

(単位:円)

	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,400,000	1,404,000	-4,000
基本財産受取賃貸料	1,400,000	1,404,000	-4,000
受取入会金	66,000	127,500	-61,500
受取入会金	66,000	127,500	-61,500
受取会費	15,025,550	15,556,500	-530,950
正会員受取会費	12,996,150	13,461,900	-465,750
準会員受取会費	144,000	190,000	-46,000
賛助会員受取会費	890,000	980,000	-90,000
参与会員受取会費	540,000	540,000	0
過年度会員受取会費	455,400	384,600	70,800
事業収益	13,503,049	15,785,792	-2,282,743
受取地方公共団体補助金	241,000	673,000	-432,000
受取国庫助成金	963,000	2,226,000	-1,263,000
受取民間助成金	1,170,000	820,000	350,000
受取寄付金	0	0	0
受取利息	11,738	13,673	-1,935
雑収益	384,402	830,244	-445,842
経常収益計	32,764,739	37,436,709	-4,671,970
(2) 経常費用			
事業費	28,622,286	30,740,320	-2,118,034
給与手当	8,309,260	8,780,508	-471,248
臨時雇賃金	74,000	565,680	-491,680
福利厚生費	4,675,973	3,271,249	1,404,724
会議費	30,247	34,070	-3,823
旅費交通費	2,967,264	2,950,809	16,455
通信運搬費	1,692,588	2,043,583	-350,995
減価償却費	1,128,366	1,232,228	-103,862
消耗什器備品費	169,903	244,897	-74,994
消耗品費	1,417,238	1,255,346	161,892
修繕費	0	37,668	-37,668
印刷製本費	2,277,226	3,791,556	-1,514,330
光熱水料費	466,505	407,831	58,674
賃借料	496,672	1,466,890	-970,218
保険料	66,642	86,785	-20,143
諸謝金	1,531,525	2,444,700	-913,175
租税公課	683,770	641,642	42,128
支払負担金	716,175	555,200	160,975
支払助成金	321,000	150,000	171,000
委託費	328,651	115,500	213,151
交際費	671,857	218,416	453,441
雑費	597,424	445,762	151,662
管理費	7,371,639	10,872,896	-3,501,257
給料手当	2,068,306	1,735,069	333,237
臨時雇賃金	0	6,000	-6,000
福利厚生費	294,893	753,803	-458,910
会議費	5,577	6,733	-1,156
旅費交通費	9,782	7,981	1,801
通信運搬費	139,893	153,029	-13,136
減価償却費	230,227	198,626	31,601
消耗什器備品費	42,834	48,393	-5,559
消耗品費	160,935	125,595	35,340
修繕費	0	6,012	-6,012
印刷製本費	74,100	55,965	18,135
光熱水料費	93,284	65,077	28,207
保険料	37,050	6,210	30,840
租税公課	153,900	126,158	27,742
交際費	34,914	34,341	573
賃借料	0	59,580	-59,580
支払負担金	3,916,990	4,964,090	-1,047,100
支払助成金	0	2,241,973	-2,241,973
支払寄付金	0	10,000	-10,000
委託費	0	189,000	-189,000
雑費	108,954	79,261	29,693
経常費用計	35,993,925	41,613,216	-5,619,291
当期経常増減額	-3,229,186	-4,176,507	947,321
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	-3,229,186	-4,176,507	947,321
税引前当期一般正味財産増減額	-3,229,186	-4,176,507	947,321
当期一般正味財産増減額	-3,229,186	-4,176,507	947,321
一般正味財産期首残高	108,579,349	112,755,856	-4,176,507
一般正味財産期末残高	105,350,163	108,579,349	-3,229,186
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	105,350,163	108,579,349	-3,229,186



花束贈呈：前会長 福本良平氏



乾杯：植村吉延様
奈良県建築事務所協会会長



懇親会風景

正味財産予算実績表

平成25年4月1日 から 平成26年3月31日まで

(単位:円)

	予算	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,400,000	1,400,000	0
基本財産受取賃貸料	1,400,000	1,400,000	0
受取入会金	130,000	66,000	-64,000
受取入会金	130,000	66,000	-64,000
受取会費	16,438,000	15,025,550	-1,412,450
正会員受取会費	14,352,000	12,996,150	-1,355,850
準会員受取会費	192,000	144,000	-48,000
賛助会員受取会費	940,000	890,000	-50,000
参与会員受取会費	540,000	540,000	0
過年度会員受取会費	414,000	455,400	41,400
事業収益	16,681,400	13,503,049	-3,178,351
受取地方公共団体補助金	268,000	241,000	-27,000
受取国庫助成金	0	963,000	963,000
受取民間助成金	160,000	1,170,000	1,010,000
受取寄付金	1,000,000	0	-1,000,000
受取利息	16,000	11,738	-4,262
雑収益	500,000	384,402	-115,598
経常収益計	36,593,400	32,764,739	-3,828,661
(2) 経常費用			
事業費	33,150,875	28,622,286	-4,528,589
給与手当	8,767,500	8,309,260	-458,240
臨時雇賃金	2,468,900	74,000	-2,394,900
福利厚生費	3,547,500	4,675,973	1,128,473
会議費	291,724	30,247	-261,477
旅費交通費	2,535,750	2,967,264	431,514
通信運搬費	1,910,913	1,692,588	-218,325
減価償却費	1,134,425	1,128,366	-6,059
消耗什器備品費	260,500	169,903	-90,597
消耗品費	2,122,113	1,417,238	-704,875
修繕費	83,500	0	-83,500
印刷製本費	1,892,300	2,277,226	384,926
光熱水料費	417,500	466,505	49,005
賃借料	1,894,500	496,672	-1,397,828
保険料	88,200	66,642	-21,558
諸謝金	2,015,800	1,531,525	-484,275
租税公課	670,000	683,770	13,770
支払負担金	1,513,750	716,175	-797,575
支払助成金	254,000	321,000	67,000
委託費	440,000	328,651	-111,349
交際費	223,000	671,857	448,857
雑費	619,000	597,424	-21,576
管理費	7,002,268	7,371,639	369,371
給料手当	1,732,500	2,068,306	335,806
福利厚生費	231,000	294,893	63,893
会議費	16,500	5,577	-10,923
旅費交通費	8,250	9,782	1,532
通信運搬費	140,250	139,893	-357
減価償却費	224,168	230,227	6,059
消耗什器備品費	49,500	42,834	-6,666
消耗品費	132,000	160,935	28,935
修繕費	16,500	0	-16,500
印刷製本費	0	74,100	74,100
光熱水料費	82,500	93,284	10,784
保険料	6,600	37,050	30,450
租税公課	132,000	153,900	21,900
交際費	33,000	34,914	1,914
支払負担金	4,115,000	3,916,990	-198,010
雑費	82,500	108,954	26,454
経常費用計	40,153,143	35,993,925	-4,159,218
当期経常増減額	-3,559,743	-3,229,186	330,557
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	-3,559,743	-3,229,186	330,557
税引前当期一般正味財産増減額	-3,559,743	-3,229,186	330,557
当期一般正味財産増減額	-3,559,743	-3,229,186	330,557
一般正味財産期首残高	108,579,349	108,579,349	0
一般正味財産期末残高	105,019,606	105,350,163	330,557
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	105,019,606	105,350,163	330,557



会長就任の挨拶

(一社)奈良建築士会

新会長 淵上徳光



平成26年度の通常総会において、奈良県建築士会 会長就任にあたり、その責任の重さを痛感しています。

福本良平前会長をはじめ前役員の皆様には長い間建築士会に貢献していただきまして心より感謝申し上げます。今後とも建築士会発

展のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

私は先輩諸氏により継承されてきた、伝統ある奈良県建築士会の在り方を継続し、まちづくりなど地域貢献活動に力を入れると同時に、建築界、市民社会に役立つ建築士会を目指して頑張りたいと思います。

バブル崩壊後、長引く経済不況、政権政党の交代など様々な要因により私たち建築士を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。建築士会の会員数の減少もこの不況が一因と思われ、本土会の財政も逼迫し、委員会活動、支部活動の基となる事業費予算は大きく削減せざるを得ません。

私に与えられた任期の中で、会員の増強と財政の健全化・安定化を最大限推進したいと考えます。それには奈良県当局をはじめとする行政のご指導・ご協力を得て、大臣・知事指定講習会、建築士試験業務の受託、建築士定期講習の受託、奈良県景観調和デザイン賞の企画・実施、住宅相談会や既存木造住宅の耐震診断事業の実施、ヘリテージマネージャーの育成と活動等の諸事業を推し進めたいと思います。

前記の事業をはじめ、各委員会の活動を推進することは、建築士会が広く社会に認識される一助となるとともに、会員増強につながり、財政の運営にも寄与するものと考えます。

また、まだ生々しく記憶に残る大きな爪痕を日本列島に残した「東日本大震災」や「紀伊半島大水害」などの大災害は私たちに改めて自然の脅威を感じさせました。その教訓から、環境に配慮したまちづくりなど建築士が果たすべき使命への期待はますます大きくなり、その責務を果たすために我々建築士は知識、技能の研鑽に努めなければなりません。建築士会活動がそれらの一助になるように努力致したいと考えます。

昨年度からスタートした一般社団法人としての奈良県建築士会、これからも本部、支部一体となって邁進したいと思います。会員皆様のご協力、ご支援を得て、奈良県建築士会の発展に尽力致す所存ですので、何卒よろしく願い申し上げます。

各委員長挨拶

■総務企画委員会

総務委員長の鈴木猛夫です。2度もあの世の夢を見てきました。が、3度目が来るまで頑張れと！ あい努めさせて頂きます。一般社団法人になり、2年目よちよち歩き建築士会。規則、細則を整え直す必要があるのですが、実際活動を通じて改善致したいと存じます。毎年2,300万の赤字財政を強いられ、其の中で活動を！と矛盾だらけの要求をさせて頂いております。利益を上げる活動が出来てない現状ですが、会員皆様のお知恵を頂き赤字を少なく致したいと存じます。支部におかれましても連携され少ない予算を有効にご活用いただきたく存じます。建築業界の若返りの為に木工、左官、鉄筋組等、実習講習の様な次世代を育成する事業も急務。ヘリテージマネージャーだけで文化遺産は守れません。

1級建築士も制度改悪で工業高校でも人気गत落。先が見えない政府に啞然。大災害が来れば復興させる人材がいけないのでは？ 電気が無く物造り出来るのだろうか？ 我々さんの時代には出来ていた手仕事技術を伝承する必要がある。諸先輩には講師として、ご活躍頂きたくぞんじます。若人が夢を持って働ける環境作りも必要かと。本年度も皆様のお力をお貸し下さい。

(記・総務・企画委員会委員長 鈴木猛夫)

■教育事業委員会

2期目の教育事業委員長をさせていただきます。

1期目は竹村委員長から受け継ぎ、とにかく部会の活動に顔をだし、委員会活動を広く浅く知識を高めました。

教育事業委員会はデザイン部会、防災部会、技術研究部会、教育研究の4部会から構成され、特にデザイン部会は半年間通じて活動をしており、部会の人たちには大変努力をして頂いております。本年度はデザイン部会の開催年であり、吉田部会長には大変頑張って頂いております。

各部会長には1期2年宜しくお願い致します。

本年度は年4回の建築士定期講習会がありますが、それ以外に会員の知識向上の為に講習及び研修会等を企画したいと思っています。

(記・教育・事業委員長 中谷芳一)

■情報広報委員会

新任ご挨拶

この度、情報広報委員会委員長に就任致しました松尾憲

治です。桜井支部所属です。これからの奈良建築士会で建築情報発信サイトの管理運営に微力ながら精進し、建築士会の皆様のお役に立ちたく尽力する心意気です。風通しのよい、建築士として役に立つ読み物、又、皆さんの活躍の報告の場として、「士会奈良」の編集・発行、及びホームページの充実に情報広報委員会のスタッフと力を合わせて邁進致します。建築士会の会員の皆様、原稿の依頼や、ご助言・ご相談をお願いする事が多々あると思われます。その時は宜しくご協力お願い致します。

(記・情報広報委員会委員長 松尾憲治)

■住まいまちづくり委員会

このたび住まいまちづくり委員長を拝命しました見邨です。

当委員会は3つの部会（①住宅相談部会②住環境福祉部会③景観まちづくり部会）より構成されています。住宅計画前の初期相談窓口として、また超高齢化社会に突入した今、福祉住環境についての課題研究、問題解決、さらには地域おける面的な景観について、奈良らしく伝統的な建造物を切り口として考える、といったことをそれぞれの活動の骨子としております。いずれの部会も建築士としての職能をどのように活かして、どのように地域貢献できるかを考えるということを今年度のモットーとして活動していきたいと思ひます。

具体的な活動予定としましては長年対応してきた住宅相談を継続する。住環境調査の実際として十津川村における林業振興と十津川らしい住まいによる復興住宅の見学。奈良市における近世・近代の歴史的建造物の掘り起しによる地域活性化事業への専門家としての調査協力を挙げております。昨年までの4年間に文化財建造物専門育成講習会において養成した103名のヘリテージマネージャーのスキルアップ講習。など、盛りだくさんの内容で今年も、楽しみながらかつ責任をしっかりとって活動していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

(記・住まいまちづくり委員会委員長 見邨佳朗)

■女性委員会

女性委員会第9代委員長になりました本保です。

女性委員会が発足して22年、歴代委員長のご活躍と実績を見てきたので、この重責を全うできるか不安ですが、精一杯努力するつもりですので、よろしくお願いいたします。

女性委員会は、全国女性建築士連絡協議会や近畿建築士

会協議会女性部会に参加して、全国や近畿の女性建築士と連携、交流、情報交換をしています。奈良の女性委員会としては、茶室調査、ユニバーサルデザイン研究、季刊誌「フープ」の発行をメインに、その活動を全国に発信しつつ。見学会や講演会等も行ってきました。この路線を引き継ぎながら、さらに、前山本委員長時代に始まった「失われつつある和室」をテーマにした新たな事業の立ち上げがあります。これは、和室を設計したことがない世代から和室を勉強したいとの声が上がったことから、今までの茶室調査やUD研究から得た知識をベースに、「和の住まい」を再発見し活用していく事が出来ないかとの壮大な計画です。まだ資料集めを始めたばかりで、どんな形になるのか判りませんが、息長く継続したいと考えています。

女性委員会は、建築士であり、女性であり、生活者である視点が社会に求められているという信念を持って、女性建築士の拠り所になればと活動しています。是非、男性の皆様にもご参加とご支援をお願いします。

(記・女性委員会委員長 本保万貴子)

■青年委員会

今年度より、青年委員会委員長の大役をおおせつかることになりました、吉野支部の中谷耕三です。

今期中の青年委員会の活動主旨として、2つのテーマを掲げて委員会活動に従事する所存です。

まず1点目「県民に我々をよく知ってもらおう」です。

県民のみなさまの豊かな住まいづくりの手助けをすることが、我々建築士の務めであります。そのために建築のこと・建築士のこと・建築士会のことをより楽しく知ってもらうため、積極的に様々なところに出向き、バラエティ豊かな啓蒙活動を活発に展開していきたいと考えています。

そしてもう1点は「次世代育成」です。

建築士会は、活動を通じて社会人になると簡単に会えることのできない「かけがえのない友人・仲間」に出会える場所だと実感しております。青年委員会の若いメンバーが建築への熱い思いを持って今後活動していく基盤をより一層整えていくよう努力する所存です。

これまでは自分ひとりのプランを立てればよかったのですが、これからは委員会全体の舵取り役という重責を担うことになり身の引き締まる思ひです。

何分不慣れな部分もたくさんありますが、みなさまのお力添えをいただきたいと思います。新しい気持ちで全力を尽くす覚悟ですので、何卒宜しくお願い致します。

(記・吉野支部 中谷耕三)



奈良支部

「東大寺国宝建造物その歴史と未来」レポート

せっかく奈良という恵まれた環境に住んでいるのだから、訪れる人に案内くらいはできるようになりたい……。

「東大寺国宝建造物その歴史と未来」と題して3部にわたる見学会を行った。一つの境内に8棟もの国宝建造物が存在し、改めて数字を見るとその数の多さに驚かされる。

講師にお迎えしたのは、文化財専門家育成講座でもおなじみの東大寺技監今西良男先生で、全45ページに亘る資料作成から当日の説明まで付きっきりでお世話いただいた。

〈第1部〉3月29日(土)、晴れ、参加者：20名

大仏殿(小屋裏非公開)～本坊経庫(非公開)～南大門

〈第2部〉4月26日(土)、快晴、参加者：24名

開山堂(非公開)～法華堂(三月堂)～鐘楼

〈第3部〉5月24日(土)、快晴、参加者：23名

二月堂(礼堂非公開)、修二会関連の附属屋～転害門

ゆったりとした時間の中で、大仏殿の棟木に触れ、本坊経庫の床下に屈み込み古材転用材の証である貫跡を手でなぞり、南大門では貫の鉄骨補強部を探した。開山堂の拡張時の内陣柱の継ぎ足しに興味を持ち、法華堂の複雑な建物構成の説明を聞き、鐘楼ではその圧倒的存在感到感動した。二月堂礼堂で滑りそうになりながらスズで真っ黒になった梁や天井を見上げ、転害門の基壇に腰をおろし奈良時代から風雨に耐え抜いた柱を眺めた。いつも心地よく聞こえてくるのは今西先生の想いを含めた建物や宗教行事のお話。

3回の見学会を通して、今まで近くにあって当たり前と思い込んでいた東大寺から実に多くの事を感じて学んだ。そして自分がどれほどすごい所に住んでいるのかを改めて実感した。大阪や兵庫、遠くは神奈川からも申込みがあり、鐘の音のような余韻の残る見学会となった。



見学会に没頭し、ずっと忘れていた集合写真を転害門の前で

参加された皆様方お疲れ様でした。そしてこの見学会に多大なご協力をいただきました東大寺様、今西先生に深く感謝申し上げます。

〈お知らせ〉近々、参加者によるレポートを奈良支部HPにUPする予定です。(記・奈良支部 芝口健一)

天理支部

「竹中大工道具館・篠山城 見学」レポート

春の訪れがもう少しという季節の中、3月23日に天理支部で開催された毎年恒例の見学会に参加させていただきました。今回は、大工道具の歴史を学ぶことができる『竹中大工道具館』今なお昔の城下町の様子を残している『篠山城大書院及び城下町』を見学してきました。

『竹中大工道具館』での大工道具の歴史は、非常に興味深いものでした。道具の始まりは、社会でも学んだように石器です。ここでは、石器を実際に作って切り倒した木が展示されていました。人の力強さを目の当たりにした感じでした。道具の進歩は製材方法を進歩させ、使用木材にも影響を及ぼしました。「割る」「裂く」といった加工から、

【おがくず】の語源にもなった【大鋸】という道具が中国から伝わり、「引割る」加工が可能になりました。加工の変化に伴い、割りやすい「広葉樹」から加工しやすい「針葉樹」に使用木材も変化していきました。この時期から日本独特の大工道具が発展するようになり、日本独自の建築物もこの時期から多く建てられるようになったようです。

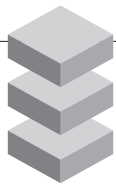


日本の大工道具は、「のこぎり」や「かな」にしろ引いて使いますが、ヨーロッパの大工道具は押して使います。木の種類(硬さ)により道具が変化したこともここで知りました。展示されていた昔の大工さんの道具の多さにもびっくりしました。今の大工さんの道具とを見比べると、家の建て方も近年大きく変化したように感じました。

『篠山城大書院及び城下町』見学では、案内していただいたボランティアの方が、非常に熱心というかマイペースで面白いおばちゃんだったという記憶しかありません。いろいろと説明していただいたのにすいません。



毎年このような見学会を企画していただきありがとうございます。今後もこのようは活動に皆さんも積極的に参加していきましょう。(記・天理支部 宮浦重彦)



奈良県地域デザイン推進課

「大和町家バンクネットワークの総会と講演」レポート

—大和・町家バンクネットワーク 振り返り—

—空き町家の活用を図る 取り組み紹介—

6／8（日）に今年度の大和・町家バンクネットワーク協議会の総会を開き、事業計画の決定などを行った。

協議会メンバーは、まちづくり団体を中心に県建築士会や不動産関連団体、行政など28団体によって構成し、運営しているが、発足から3年経った現在、原点に戻って協議会発足までの大和・町家バンクネットワークの取り組みを振り返る。



【取り組みの背景】

（1）多数存在する奈良県内の歴史的街なみ地区

奈良県（大和）内には、伝統的な町家や歴史的な街なみを有する地区が多数存在。

（2）民間のまちづくり活動とネットワーク

それぞれの地区で民間のまちづくり組織による活動が行われるとともに、お互いに情報交換する組織「大和まちづくりネットワーク」が昭和63年に設立されて以来、現在もゆるやかなネットワークが形成。

（3）共通の課題である「空き家」の増加

空き家や空き地の増加により、良好な景観が失われ、地区の活性化、安全性が阻害されるとともに、地域コミュニティの崩壊の危機へと結びつくものとなっている。

【取り組みのきっかけ（平成21年度）】

NPO法人今井まちなみ再生ネットワークでは、橿原市今井町において「町家バンク」を実施して実績を積み重ねてきた一方で、地区単体での情報量に限りがあることから希望が上手く合わないこともあった。そこで地区ごとに活動を単独で行うより、これまでのネットワークを活かして県内の空き町家情報の一元化し発信することによってユーザーの多様なニーズに応えること、今井町でのノウハウを地区へ転換したい等の理由から、平成21年度より大和・町家バンクネットワークの取組が始まった。

【協議会発足まで（平成21年度～平成23年2月）】

検討委員会を立ち上げ、ワークショップも交えながら各地区的共通認識を図り、また実施内容と関連課題の整理などを実施した。平成22年度からは新メンバーも加えて準備会として、所有者の意向聴取を含む空き家調査、生活体験施設を利用した社会実験などを実施し、空き家物件情報を掲載したHPサイトを立ち上げた。そして平成23年2月に協議会が発足した。

レポート；大和・町家バンクネットワーク協議会事務局

浦野 聡

【セミナー講師】

吉井茂人氏（長浜まちづくり株式会社コーディネーター）

【セミナー趣旨】

空き町家の活用を図る際「荷物がある等貸せる状況で無い」と所有者から断られる事例は、地域間を超えての共有の課題であることから、長浜まちづくり株式会社が昨年度取り組んだ事業成果や課題を学び各地の参考にする。

【講演内容】

検討（取り組み）フロー

①空き町家調査；活用意向の確認

- ・自治会へのヒアリング
- ・近隣住民からの聞き取り
- ・空き家タイプ（子世代が相続しそのまま等）を把握
- ・所有者や親族にヒアリング⇒結果54%は活用意向あり
- ・どのような修理をすべきかをカルテをつくる

②「風通し」試行；家財整理～戸を開ける～建物チェック

- ・空き家を所有者に代わって維持管理する
- ・不要な家財道具を整理（分別収集⇒搬出⇒清掃）
⇒家財整理費（仕分け人件費＋車両使用料＋処分経費）
- ・建物を適切に維持管理しながら、住みたい方へ橋渡し
⇒現況調査2日間（簡易実測・平面図作成・現況写真）
⇒月2回戸の開け閉めをし、空気を入れ替える
⇒状況報告を月1度する
- ・風通しの効果
建物状況などを正確に把握、室内の過湿状態を改善、室内の臭気を除去、防虫・防獣（鼠、猫、白鼻心）、近隣コミュニケーション

※風通し事業のその後の再活用の具体策を描くことが重要

③見学会の実施例）；橋渡しに関する検討

- ・入居希望者だけでなく、試行先以外の空き町家所有者や、近隣住民らと再稼働イメージを共有し、取組みへの賛同を募る 100名 1月15日（水）～21日（火）
- ・若い人が多い フェイスブックによる募集も実施
- ・売っていただくのであれば、水廻りにお金をかけたい
- ・アンケート結果

⇒町家を活用したい 15名／81名

⇒町家に住んでみたい 66名／81名

④ビジネスモデルの検討；事業のケーススタディー

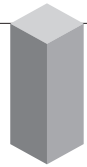
- ・賃貸型 借受＋改修投資＋転売 手間（多）継続的
⇒1軒当たりの収益性が低い
⇒運営作業量が多く、専属スタッフの配置が必要
- ・売買型 買取＋改修投資＋販売 手間（少）一時的
⇒収益性は高いが、相当の資金力が必要
⇒資金力と共に所有者及び地域的な信頼が必要
⇒住宅用途による町家再活用のイメージ浸透により、多くの所有者からの賛同を得ることが必要

※今後の方向性；専業かつ信頼ある組織を設立する

長浜まちづくり株式会社と地域の不動産事業協同組合等の連携により社団法人などの設立へ

中心市街地における空き町家対策を通じたコミュニティビジネスとして参考となる講演であった

レポート；中尾七隆



木が木でなくなる話

第3回「燃えない木材を創る」

1. はじめに

前回は木材の三大欠点のうち「腐る」と「狂う」という欠点を同時に解消する技術について紹介致しました。そこで、今回は「燃える」という有機材料の宿命とも言える欠点を解消する「木材の不燃化」技術について紹介致します。

2. 不燃材料について

規模の大きな公共建築物などでは、壁や天井等に防火材料（不燃、準不燃および難燃材料の総称）を使うことが、建築基準法により義務づけられています。平成12年に同法の一部改正があり、その際、防火材料の規定が大きく変更されました。それ以前は、コンクリートや煉瓦、瓦、アルミニウム、ガラス等、個別に指定されたものに限って、不燃材料として使うことが認められていましたが、この改正に伴い、「政令で定める技術的基準」を満たし、国土交通大臣の認定を受ければ、木材のような元来燃える材料であっても不燃材料として使えるようになりました。これと同様に、法改正以前は、準不燃材料には木毛セメント板や石膏ボード等、難燃材料には難燃合板や難燃プラスチック等、逐一具体的な材料が指定されていましたが、これらの規格についても、不燃材料と同様で、大臣認定を受ければ、従来の認定品と同様に扱えるようになりました。

ところで、政令には不燃材料の技術的基準として、「建築材料に、通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後20分間（準不燃材料、難燃材料ではそれぞれ10分間、5分間）に、

- (1)燃焼しないものであること。
 - (2)防火上有害な変形、熔融、き裂その他の損傷を発生しないものであること。
 - (3)避難上有害な煙又はガスを発生しないものであること。
- の要件を満たしていることとする。」と書かれています。

要件1と2については、コーンカロリーメータによる発熱性試験を、要件3については、マウスを用いたガス毒性試験を行うのが一般的です。これらの試験は（財）日本建築総合試験所（吹田市）など、全国に4つある指定性能評価機関で受けることができます。

3. コーンカロリーメータによる発熱性試験

コーンカロリーメータの装置の外観を図1に示します。同装置は、試験材料を熱分解させる加熱部（図1の右側）と、発生したガスの酸素濃度等を計測する計測部（同図の左側）が、その主たる構成であり、付随するパソコン（同図中央）で、燃焼によって生じる酸素濃度の低下から、発熱量を算出する装置です。

同装置による発熱性試験では、以下に示す性能基準を満たすことが基本となります。

- 不燃材料としての認定の基準は、加熱開始後20分間で、
- (1)総発熱量が 8 MJ/m^2 以下であること。
 - (2)防火上有害な裏面まで貫通するき裂がないこと。
 - (3)発熱速度が10秒以上継続して 200 kW/m^2 を超えないこと。

であり、準不燃材料や難燃材料では、試験時間がそれぞれ10、5分間となっています。

加熱部にはお椀を逆さにしたようなヒータがあり、その直下に25mm離して、ステンレスホルダーに装着した $99 \pm 1 \text{ mm}$ 角の試験材料を置き、試験を開始します。図2は、無処理のスギ材を用いたときの様子ですが、激しく燃え上がっているのが分かります。ヒータはおよそ 630°C に加熱され、熱分解を受けて、試験材料から可燃性のガスが発生すると、試験材料とヒータの間に設置されている高電圧スパークにより着火します。

4. 不燃木材の課題

図3はコーンカロリーメータを用いた発熱性試験での加熱時間と総発熱量との関係を示したグラフです。無処理のスギ材では2分足らずで総発熱量が 8 MJ/m^2 を超えて、20分後には 80 MJ/m^2 に達しました。一方、不燃処理をし



図1 コーンカロリーメータの外観

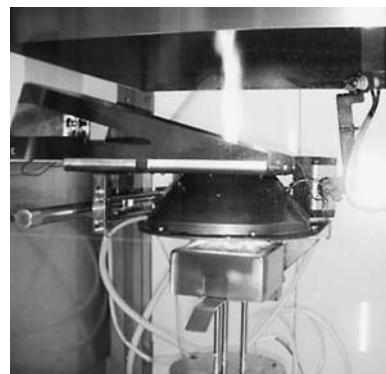
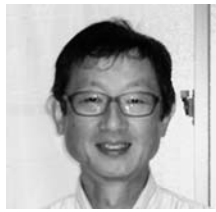


図2 スギ無処理材の発熱試験風景



略歴 伊藤貴文（いとう たかふみ）奈良県森林技術センター副所長
1956年京都市生まれ。1982年3月京都大学大学院農学研究科林産工学専攻修士課程修了。1983年4月奈良県林業試験場（現森林技術センター）勤務。1997年7月、京都大学より農学博士の学位授与。2013年より現職。専門分野は「木材の化学加工」、「木質バイオマスの利用」

賞罰

- ・スギ樹皮を原料とする和紙製造技術によって、1994年5月、日本林業技術協会より第40回林業技術賞授与。
- ・水溶性薬剤による木材の化学修飾に関する研究（寸法安定化・高耐久化）によって、2002年1月、日本木材学会より第3回技術賞、同年4月、文部科学大臣賞（第22回科学技術振興功績者）
- ・吸湿性を抑えた不燃化技術によって、2010年5月日本木材加工技術協会より第55回加工技術賞授与。

たスギ材では当然ながら、図2のような大きな炎は観察されず、発熱量も極めて抑制されていて、20分間の総発熱量はおよそ5 MJ/m²でした。

このように不燃の基準を満たすには、発熱量を著しく抑制しなければならず、そのためには、高い濃度の薬液を木材中に含浸させることが必要となります。ホウ酸は有効な防火薬剤の一つですが、不燃化には最低でも1ℓの水に450g溶かさなければなりません。しかし、ホウ酸は室温では40g程度しか溶けないので、例えば、リン酸アンモニウムのような親水的な薬剤を助剤として加え、溶解度を高めています。ところが、処理後の木材に親水性が高い薬剤が存在しますと、大気中の湿気を大量に吸い込み、その水分により薬剤が木材表面に噴き出して固まる、いわゆる「白華現象」が生じます（図4）。駅舎など、公共性が高い建造物に不燃木材が使われているケースを、最近では度々目にするようになりましたが、それに気付くのは残念ながら「白華」が見られるからです。木材保存の教科書でも「不燃木材は吸湿性が高く、高湿度下での使用は防火剤の消失にもつながり、また寸法安定性や塗装性の悪化および金属腐食

等の欠陥を生ずることになる。」と断言しており、「不燃木材の吸湿性を抑えることはできない。」というのが、常識のようになっていました。

5. 課題の解決に向けて

リン酸ジグアニジンはリン酸1モルとグアニジン2モルが結合した塩ですが、吸湿性は低く、紙や繊維の難燃剤として汎用されています。そこで、私達の研究グループ（奈良県森林技術センター、（独）産業技術総合研究所中部センター、（株）ヨコタニ）は、リン酸ジグアニジンをベースとした薬剤での木材の不燃化に挑戦しました。リン酸ジグアニジンは先にも述べたとおり吸湿性は低いのですが、室温での溶解度は、不燃に必要なレベルには至らず、また、アルカリ性で木材を黄変させることもあり、単独では使えませんでした。溶解度を高めることと、中和することを目的に、有機酸など酸性物質を添加した結果、溶解度は高まったのですが、ほとんどの条件で吸湿性も高くなってしまいました。しかし、詳細な実験を行ったところ、ある特定の比率で薬剤を混合したときに、特異的に吸湿性が低くなることを見出しました。吸湿性が高い薬剤同士が引き合って、水よりも強く結びついた結果であると推察しています。この技術を使って、共同研究者である（株）ヨコタニ（桜井市）では、吸湿性が低い不燃木材を製品化して（図5）、既に5年近くが経ち、施工例（図6）も多くなってきましたが、白華などのトラブルは全く起こっていません。私が知る限りでは白華しない唯一の不燃木材と思っています。

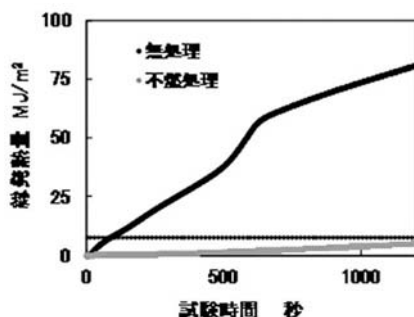


図3 コーンカロリメータでの発熱性試験結果

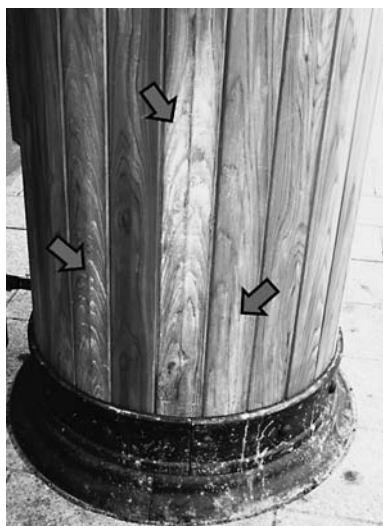


図4 白華現象が生じたヒノキ不燃材



図5 吸湿性が低い不燃木材（株）ヨコタニ提供



図6 施工例（近鉄奈良駅）

暑中お見舞い申し上げます (一社)奈良県建築士会参与会々員

(株) 浅沼組 (奈良営業所) 奈良市三条本町4番32号 中室ビル ☎0742-26-5225 大西宏次	大倭殖産(株) 奈良市藤ノ木台1-2-15 ☎0742-43-9191 矢追盛賢	(株) 奥村組 (奈良支店) 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル ☎0742-22-5001 朝日務	(株) 尾田組 奈良市高畑町738-2 ☎0742-26-6011 尾田芳信
鹿島建設(株) (奈良営業所) 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル ☎0742-23-4564 岡野隆	(株) 鍛冶田工務店 (奈良本社) 御所市150-3 ☎0745-65-2131 柏原幸嗣	(株) 崎山組 橿原市南八木町2-3-35 ☎0744-22-2353 寄山雅由	清水建設(株) (奈良営業所) 奈良市大宮町7-1-33 奈良センタービル ☎0742-34-1510 前田秀樹
大日本土木(株) (奈良営業所) 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル ☎0742-22-3071 高田正晃	(株) 中和コンストラクション 桜井市桜井281-22 ☎0744-42-9313 大浦基嗣	(株) 中尾組 桜井市桜井553-1 ☎0744-42-3567 中尾隆成	中村建設(株) 奈良市三条大路1-1-48 ☎0742-33-1001 中村光良
(株) 平成建設 橿原市曾我町352-4 ☎0744-22-3800 吉崎雅之	(株) 槇峯建設 高市郡高取町丹生谷1061 ☎0745-67-0084 槇峯豊美	松塚建設(株) 宇陀市榛原福地610-1 ☎0745-82-1371 松塚幾善	村本建設(株) 北葛城郡広陵町平尾11-1 ☎0745-55-1151 市岡武
(株) 森下組 吉野郡大淀町檜垣本1589 ☎0747-52-3535 森下秀城	(株) 山上組 奈良市鳥見町1-1-3 ☎0742-44-0063 山上雄平		

暑中お見舞い申し上げます

役員有志

(株) 北 和 設 計
奈良市法華寺町126-1
岩本西ビル
0742-30-4621
泉 谷 良 宏

Y A S プランニングオフィス
奈良市柏木町422-1
柏木ビル3階
0742-35-5591
稲 原 泰 裕

井上建築工房アルス
大和郡山市北郡山町158-6
大和第3ビル204
0743-51-0286
井 上 慶 治

岡田一級建築士事務所
橿原市西池尻町194-1
メゾンサクセスII-103
0744-28-5580
岡 田 則 夫

坂下建築設計事務所
天理市三島町167
0743-62-0306
坂 下 恭 浩

(株)城田建築設計事務所
奈良市佐紀町1番地
0742-33-5585
城 田 全 康

鈴木猛夫設計事務所
奈良市敷島町2丁目469-10
0742-31-4446
鈴 木 猛 夫

(株)竹村建築設計事務所
奈良市三条松町10-12-101
0742-30-3311
竹 村 繁 喜

(株) 中 尾 組
桜井市桜井553-1
0744-42-3567
中 尾 七 隆

(株) 榊 谷 設 計
奈良市西ノ京町101-1
0742-34-1461
中 元 綱 一

(株) 福 本 設 計
奈良市大宮町6-4-21
0742-34-2800
西 峯 隆 司

(株) 福 本 設 計
奈良市大宮町6-4-21
0742-34-2800
福 本 良 平

測 上 設 計
奈良市秋篠町765
0742-47-4100
測 上 徳 光

松 塚 建 設 (株)
宇陀市榛原福地610-1
0745-82-1371
松 塚 幾 善

富士技建(株)奈良桜井出張所
桜井市浅古903
0744-45-1105
松 尾 憲 治

(50音順)



奈良県住宅課

十津川材普及促進建築士等登録事業について

■事業の目的

十津川材の普及促進を図るため、県内外の建築士の方に十津川村の風土・風景、村産材、住宅などを講習を受講いただき、「十津川材普及促進建築士」として一定の要件のもとで登録いただくことで、十津川材を使った住宅等の設計施工等に繋げ、十津川材の普及促進に資することを目的に実施するものです。

■「十津川材普及促進建築士」とは

十津川材の使用、十津川村の住宅の建設を積極的に行おうとする建築士・建築大工技能士で、建築士法（昭和25年法律第202号）第23条第1項の規定に基づき、各都道府県知事の登録を受けている建築士事務所に所属する建築士、または建設業法（昭和24年法律第100号）第3条第1項の規定に基づき、各都道府県知事若しくは国土交通大臣の許可を受けている建設業の営業所に勤務し、かつ7年以上の実務経験を有する建築大工技能士（職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）で規定する技能士）で、十津川村が実施する十津川材普及促進建築士のための講習会を受講し、十津川材普及促進建築士登録事業登録要綱に基づき十津川村に登録した者をいいます。

■「十津川材普及促進建築士」になるためには

建築士等に十津川産材を使っていただくための知識と技術の養成及び技能の向上のため、「十津川材に関する普及促進建築士のための講習会」を実施します。

この講習を受講し、審査により認められた建築士等を十津川村公認の「十津川材普及促進建築士」として登録し十津川材の普及促進に努めていただきます。

登録を受けるために必要な資格／

建築士（1級・2級・木造）

建築大工技能士（1級・2級）

登録には事前申請が必要で、申請を受付け後、書類審査で要件に該当した方は、1泊2日（実費）の講習会を受講していただく必要があります。受講終了後、審査により適当と認められた方のみ登録が認められ、登録証が発行されます。

登録は、登録日から5年を経過する日の属する年度の末日までの間有効とします。

■「十津川材普及促進建築士」の活動とは

おおむね1か月半に1回程度、イオンモール橿原敷地内（奈良県橿原市曲川町7丁目20番1号）の「十津川の森木灯館」（以下「木灯館」という。）で来場者のための説明（1日5時間程度）に従事するものとします。日程調整等につきましては、登録された後、別途させていただきます。

木灯館内を展示施設として、または会議室を顧客との打ち合わせ場所として活用することができます。

（1日1回2時間以内、予約制）



十津川村猿飼集落の完成した復興公営住宅

■「十津川材に関する普及促進建築士のための講習会」開催について

○開催日時

・平成26年9月3日（水）

午前10時15分受付

午前10時30分開始 午後5時00分終了予定

・平成26年9月4日（木）

午前10時00分開始 午後3時00分修了予定

○開催場所

【1日目】奈良県橿原市曲川町7丁目20番1号
イオンモール橿原 3階 イオンホール
十津川の森「木灯館」

【2日目】奈良県吉野郡十津川村小原225番地1 十津川村役場 ほか

※登録のためには2日とも受講が条件で、今回の講習の定員は25名です。



イオンモール橿原の十津川の森「木灯館」

■登録に関する講習会の申し込みやお問い合わせ先

十津川村役場農林課林業振興対策室

「十津川材普及促進建築士」登録担当 千葉

電話0746-62-0005（農林課直通）



住まいまちづくり委員会 住環境福祉部会 和の住まいのすすめ講演会&十津川復興住宅見学会

6月20、21日に開催された「和の住まいのすすめ講演会&十津川村における林業振興と十津川らしい住まいによる復興住宅見学会」に参加しました。講演会会場の社会福祉法人飛鳥学院は、戦後に戦災孤児を保護することを目的として昭和22年につくられた児童福祉施設で、平成9年に当初建設された本館などの耐震及び再生改修工事と、遊戯室棟、子育て支援センター、乳児保育室の新築工事が行われました。遊戯室棟は、主屋と下屋の2段の屋根を持つ大和棟をモチーフとした軒の深い本格的な木造建築で、十分な日当たり、通風、断熱性が確保されています。構造材の接合部は貫工法等とI型梁工法を採用され、木を痛める金物を極力使わないように木栓主体の接合とされています。経年変化に耐える耐久性を確保するための工夫についても話をお聞きする事が出来ました。



講演会の様子 飛鳥学院遊戯室棟

講演のテーマは「和の住まいのすすめ～今に生きる日本の住まいの知恵」。講師はアルセッド建築研究所の大倉靖彦氏です。（飛鳥学院本館等改修・遊戯室棟等設計者、二日目の見学先十津川村復興住宅の設計者。）日本の伝統的な木造住宅には、地域の気候風土文化に根差した知恵がふんだんに含まれおり、例えば大きな開口による通風採光、軒や庇を深くすることにより降雨や日射遮蔽対策を講じる等、環境親和型の技術が用いられています。電力をはじめとするエネルギー抑制が課題となる昨今、あらためてこれらの知恵が再評価されており、講演では建築的な各部分の構成要素だけではなく、住まいを形成する基盤である「自然、社会、家族」という立脚点からお話いただき大変勉強になりました。講演後そのままバスで十津川に移動して十津川温泉に宿泊。

二日目は2地区の復興住宅（高森地区、谷瀬地区）と復興モデル住宅を見学させていただきました。発注者である十津川村建設課主幹の乾耕輔氏と、設計者のアルセッド建築研究所大倉氏の両氏にご案内いただきました。十津川の山村は急峻な山の斜面に谷に向けて民家が点在しており、石垣や棚田と一体になった美しい集落景観が特徴です。雨の多い地域として、スバルノフキオロシやウチオロシといった独特の建築要素も発展してきました。

復興住宅計画では村民や地元の大工さん参加型検討プロセスを経て「十津川らしい住まいづくりの25の手法」が整理されました。その中でも、妻側のケラバ下の△板壁「スバルノフキオロシ」と斜面地に見え隠れする石積みはとても印象的で、完成後の景観に感銘を受けました。



復興住宅（谷瀬地区）

地域産業である十津川の木材がふんだんに使われています。木材のロスが少なくなるような設計を心掛けたとのことでした。石積みのための地域の川石は採取に規制がかかっているそうで、地域の石積みと同じ石を集めることに大変苦心されたとのことでした。「石の形が少し違うだけで“十津川らしい石積み”ではなくなるのですよ」と、設計者ではなく十津川村建設課の乾氏が説明してくださったのがとても印象的でした。地域の方が主体的に「十津川らしさ」を守ろうとされている姿勢を感じ、感動しました。

設計者が、相手（地域・人・文化・歴史・自然風土）に寄り添い、相手をリスペクトする姿勢を貫くことが、とても良い結果につながるように思いました。

この2日間“日本の住文化と地域性”について多くを学びました。

（記・情報広報委員会

岩城由里子（生駒支部）



復興モデル住宅内部
和室は地域独自の構成（床の間や先祖を祀る位置、神棚の位置）としている。



各支部報告会

■奈良支部

平成26年5月13日奈良ロイヤルホテルにおいて、奈良支部幹事・役員会及び総会（懇親会）が開催されました。

16時30分より幹事・役員会が開催され、平成26年度事業計画（案）等について審議、承認されました。

その後報告事項を経て幹事・役員会は閉会し、懇親会場に移動しました。

18時より稲原副支部長の司会で総会（懇親会）が開会、若井支部長のご挨拶で先刻役員会にて事業計画が承認されたことと、役員の変更、実施された事業について説明されました。

引き続き司会より以下のご来賓が紹介されました。奈良市長 仲川様代理として奈良市都市整備部まちづくり指導室室長 仲谷様、なら建築住宅センター常務理事 椿本様、審査部審査課 濱本様、奈良県建築士会 副会長 淵上様、事務局長 鹿沼様来賓を代表して奈良市 仲谷室長より中川市長のメッセージと建築士会 淵上副会長よりご祝辞をいただき、城田顧問のご発声にて乾杯が行われ、歓談となりました。

後半には国際地域貢献情報委員会 乾委員長より、慶州への訪問に向けての韓国勉強会や韓国慶州姉妹都市訪問見学会、歴史的建造物・風土研究会として、姫路城保存修理見学会、国宝薬師寺東塔保存修理見学会、東大寺国宝建造物見学会などの事業報告と興福寺中金堂見学、伊勢神宮参拝などの事業予定の説明がありました。

その後、本年度奈良支部の役員の紹介があり、賛助会の皆様のご紹介の後、竹村副支部長にて中締めとなり、出席者38名の盛大な懇親会にて親睦が深められました。

（記・福本保治）



■郡山支部

事業報告会 5月15日(木) 午後6時～三の丸会館

支部役員

相談役 井上 慶治（本会・副会長）

支部長 立辻 利治（理事）

副支部長 徳本 雅代

副支部長兼事務局 和田 修

会計 杉村 道也

監査 仁田 晴夫 亀岡 俊典

幹事 吉岡 修一 篠原 美治 尾川 佳永

辻本 賢司 細川 忠義 白鳥 全彦

倉原 猛 何左 昌範 澤田 貢

折目 貴司 一色 菊雄 東川 正樹

報告

今年度は三の丸会館視聴覚室で事業報告会を行いました。来賓として本部より井上副会長、鹿沼事務局長、なら建築住宅センターから濱本課長代理を迎えての開催となりました。

25年度事業報告では例年11月3日に郡山城趾を中心として開催されている親子祭りに郡山支部から参加し子供達に建築に少しでも興味を持って貰おうと工作の場を提供し組み立ての面白さを体験してもらいました。

また旧城下町の建物探訪部会活動として6月23日に兵庫県丹波篠山市へ城下町の街並みと丸山地区の集落を見学を行いました。10月にはハナラートの開催に合わせて期間中菊屋本店のギャラリーで建物探訪調査のパネル展示及び丹波篠山の見学パネル展示を行いました、来場者は約300名ありました。併せてアンケート調査も実施いたしました。会計報告に続き平成26年度事業計画が了承されました。

26年度は長年開催されている親子祭り参加と共に建物探訪調査の中から抽出した約50件の歴史的建物の聞き取り調査を開始し持主了解が得られた調査物件を士会のホームページに順次掲載して行く計画とし実測方法など方針協議をして取り組んで行く。尚今年度は懇親会はされませんでした。

たが座談会に移り様々意見議論がされました、会員相互連携を広げるため連絡網の活用をはかり全ての会員に連絡が行き渡るよう努力していく、また施設見学、工場見学を行い各々の技術向上に役立つ事業をしていく等魅力ある支部になるよう活発な座談会となりました。

（記・郡山支部長 立辻利治）

■生駒支部

4月19日(土) 17時40分～ 生駒セイセイビル
平成26年度支部役員

顧問	奥田 尚史		
支部長	伏見 康司		
副支部長	伊阪 洋	中尾 克治	
会計	寺岡 春恵		
会計監査	森田 善友		
幹事	岩城由里子	栗原 義幸	小嶋 明美
	中村 和範	本保万貴子	三木 一美
	水守 寛敏	渡邊有佳子	
本部理事	伏見 康司 (支部推薦)		



平成25年度に行われた事業および決算報告を行い、今年度の支部体制・活動方針および予算案が承認され、一般社団法人としての支部規約についての説明を行いました。今年度も講演会や講習会を開催することで自己研鑽するとともに、昨年度から継続して開催されている生駒市環境フェスティバルや斑鳩商工まつり、平群町の土曜講座への参加を予定しており、地域への情報発信を行っていきます。

報告会終了後は例年通り懇親会を行い、今年度は近鉄百貨店生駒店6階にある料亭「月日亭生駒店」で開催し、親睦を図りました。
(記・水守寛敏)

■天理支部

5月16日(金) 午後5時15分～ ウエルカムハウスコトブキ
午後6時～ 懇親会

支部役員				
顧問	佐田 春樹			
相談役	奥村 利文			
支部長	坂下 恭浩			
副支部長	森馬 康之	溜谷 剛		
会計	和田 欣也			
監査	柏原 功司			
幹事	奥村 章行	米杉 三伸	空野 良二	
	庄田 尚代	宮浦 重彦	相賀 正夫	
	板垣 篤	中嶋 孝		



平成26年度支部会計報告会は、委任状も含め33名の出席会員で開催されました。25年度支部長の奥村氏より前年度の報告、続いて26年度役員改選に入り上記の支部役員の承認を頂き本年度の事業計画案・予算案も議案通りに承認されました。

会計報告会後の懇親会では、来賓としてお見えの井上副会長様より建築士会として大きな問題の一つである会員増員について、建築士会の会員数は建築士資格者の1割も満たしておらず、この状況を改善していくには支部の役割は大きく今後とも支部の活躍に期待するとの励ましのお言葉を頂きました。

一般財団法人なら建築住宅センター細川氏乾杯のご発声により宴に入りました。途中、並河天理市長もお越しになりご挨拶を頂き、来賓・協賛企業・会員の皆様と非常に楽しい時間を過ごしました。気が付けば予定の時間も過ぎており、支部会員の皆様のお蔭で無事に終えることが出来ました。

(記・天理支部長 坂下恭浩)

■桜井支部

4月26日(土) 午後2時30分～

桜井市大字下692 霊園山 聖林寺

平成26・27年度(一社)奈良建築士会 桜井支部役員

顧問 齋藤 徳夫 大倉 孝之

相談役 水尾 好秀

支部長 森田 恭司

副支部長 奥村 壽男 山本 規子

会計 奥田 和弘

会計監査 笹畑 秀晴 矢賀 孝

幹事 吉本 正治 安田 高秀 平田 勝

辰巳 光男 正田英之助 中尾 七隆

藤浪 通 見邨 佳朗 米野 廣次

福嶋 啓次 中川 幸一 吉田 敦彦

奥田 道弘 松本賢大郎 三浦 秀一

奥野 洋一 (新)大倉 克之

事務局 松尾 憲治

本部副会長 中尾 七隆

本部理事 森田 恭司

本部理事 見邨 佳朗(住まいまちづくり委員会委員長)

本部理事 松尾 憲治(情報広報委員会委員長)



春光うらかな日より、平成26年度奈良建築士会桜井支部通常総会を、霊園寺「聖林寺」の場をお借りして開催し、桜井市長様をはじめ多数のご来賓の臨席いただきました。開会宣言後、物故者の黙祷を捧げました。会議は各議案全て、慎重な審議の結果、滞りなく承認されました。続いて 聖林寺住職 倉本明佳様の「聖林寺と国宝十一面観音菩薩」の法話を拝聴させて頂き、しばし観音様と対面し俗世間を忘れる境地になりました。その後、場所を「あるぼ～る特設会場」に移し、和気あいあいの雰囲気の中、定例の親睦会が催されました。(記・松尾憲治)

■橿原支部

橿原支部では『事業報告会』を、平成26年5月9日(金)午後6時から市内久米町のオークホテルで開催しました。

浅田理事が司会進行を務め、上辻副支部長の開会の辞に続き、安田理事を議長に選出し、前年度の「事業報告」・「会計報告等」を行ないました。

続いて本年度の「事業計画」・「予算」・「役員改選」・「支部規則」の各案についても慎重に審議をしていただき、全議案を満場一致で承認いただきました。

本年度は、8つの事業を推進してまいります。又、平成28年度には支部が創立30周年を迎えるにあたり「記念事業」を実施したいと思います。

防災や減災 社会に貢献出来る団体として、この機を通じ一層の情報発信に努めたいと思います。更なるご支援をお願い申し上げます。

ご承認いただきました事業計画は、下記のとおりです。

- 1 支部各委員会の積極的な活動の推進
- 2 本部事業計画への積極的な参加協力
- 3 会員の増強
- 4 会員相互の知識と技術の向上(研修会・講演会等)
- 5 地域街づくりへの積極的な協力
- 6 会員相互の親睦・他支部との交流
- 7 行政委託事業への積極的な参加
- (住宅相談・耐震診断)
- 8 その他支部活動に必要な事業(30周年記念事業含む)

支部では従来から『公益事業』や『関連業種交流』、一般市民の参加型『研修会・勉強会』に取り組んでまいりましたが、今年度、『橿原市の市民活動公募事業』にも応募し、採択いただければ、新たな支部活動として取り組んでまいりたいと思います。新役員も承認されました。皆様方の一層のご支援・ご指導をいただき、支部発展の為に役員一同努力してまいりたいと思います。

その後、寄山副支部長が閉会の辞を申し上げ『事業報告会』を無事終了させていただきました。

引き続き、多数のご来賓・会員・賛与会員の皆様方の出席の元、懇親会を盛大に開催させていただきました。

来賓のご挨拶の内では、当団体・当支部への期待が大きき寄せられ一層の責任の重さを感じた次第です。

最後に米村副支部長が、参加者の益々の発展と健勝を祈念し一本締めで懇親会を閉じさせていただきました。

(記・橿原支部長 岡田則夫)

■高田支部

高田支部事業報告会並びに懇親会

5月16日、大和高田市の経済会館3階大ホールにて高田支部事業報告会並びに懇親会を開催しました。25年度の事業報告や決算・監査報告、26年度の事業計画案・予算案他議案は全て審議可決され、滞りなく事業報告会を終えることができました。今回は役員改選の時期にあたり新田支部長が任期を満了され新しく的場新支部長が「会員・賛助会の協力を得て様々な事業を行い、高田支部の発展に尽くしたい」とご挨拶され、満場の承認をうけて新しい体制がスタートしました。地域選出の県会議員の先生方をはじめご来賓にも多数ご出席賜り、懇親会も華々しくも和やかに開催することができましたのでここに報告致します。

(記・高田支部 吉田泰造)



■宇陀支部

4月30日(水) 美榛苑

顧問 小松原道弘

相談役 松塚 幾善

支部長 今西 清秀

副支部長 樫岡 稚則

会計 小松原寛俊

理事 今西 清秀

幹事 樫岡 稚則

山本 浩一

小林 春重

服部 洋司

桑原 大輔

辻本 善二

小松原寛俊

小松原寛俊

橋本 裕一

今西 清秀

松塚 幾善



4月30日(水)宇陀支部総会が、宇陀市美榛苑において開催されました。事業報告、会計報告が承認され、本年度は新役員選出の時期、奈良県建築士会も、一般社団法人となって二年目で新役員が選出されました。

顧問に小松原道弘さん、相談役に松塚幾善前支部長さん、新支部長に私、今西清秀が、副支部長に樫岡稚則さんと、会計兼任の小松原寛俊さん、幹事として13名、委員会へ5名が選出決定されました。宇陀支部として前諸先輩方々に御指導を賜り頑張りたいと思います。

昨年より一般社団法人奈良県建築士会と変わりつつある中、社団法人として会員一同諸行事にも多く参加して、団結と、社会一般との友愛となじみ深い活動ができればと念願するところです。どうか宜しくお願い致します。

(記・宇陀支部長 今西清秀)

■五條支部

5月10日(土) 食事処 かぎおか
相談役 田鍋 誠一 内原 一誠
武田 正文 本間 照義
出野 光男
支部長 辻 元二
副支部長 岡本 光弘 坂田 至伸
会計 佐古 誠
理事 藤井 靖彦 大和 良樹
田中 卓也 田中 信道
洞 尚樹
監事 浦東 保 東 康朝



平成26年度五條支部報告会が、5月10日(土)午後6時より開催され、忙しい中正会員の約半数16名の方々に出席頂きました。

始めに、東支部長は、今年は役員改選の年、新役員に協力して、皆で頑張ろうと挨拶され、新入会員2名紹介(様)をしました。

引き続き、支部活動、会計各報告、役員改選、今年度の支部活動、予算案など審議をし満場一致で、承認されました。新役員は、上記の通りです。

報告会終了後、懇親会に入り、来賓の紹介鹿沼事務局長、なら建築住宅センターの細川副理事様より、祝辞を、いただき、出席者の自己紹介をし、見学会やいろいろな話が飛び交い楽しいひと時を過ごしました。

最後になりましたが、新支部長として一言挨拶させていただきます。わが五條支部は、約60年前から活動し伝統ある支部です、先輩方よりは、微力ですが、本部の事業には、出来るだけ参加したいと思いますどうかよろしくお願いします。
(記・五條支部長 辻 元二)

■吉野支部

5月16日(金) 下市町 千石荘 午後5時30分～
支部役員
相談役 西本 輝 平 道也
支部長 上平 久居
副支部長 小川 富大(兼 会計)
会員 中谷 宏 北澤 晨宏
小澤 智実 新田 真司
中谷 耕三 中村 正城
榎本 繁一
来賓 奈良県建築士会 福本会長
なら建築住宅センター 鍛冶谷中和支店長
出席者 合計13名



支部長挨拶

建築士会吉野支部総会に参加ありがとうございました。支部活動報告・今年度の活動計画について、皆様に貴重な意見を伺い、充実した審議をさせていただきました。懇親会では、奈良県建築士会 福本会長様・なら建築住宅センター 鍛冶谷中和支店長様に出席して頂き、建築業界の状況、見学会及び親睦の提案など、なごやかな内に時間も忘れ大いに盛り上がりました。皆様、お忙しい中、ご出席頂きどうもありがとうございました。今後共ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

(記・吉野支部長 上平久居)



お知らせ

Information

●平成26年度建築士試験日程のご案内

	学科の試験	設計製図の試験
一級建築士試験	7月27日(日)	10月12日(日)
木造建築士試験	7月27日(日)	10月12日(日)
二級建築士試験	7月6日(日)	9月14日(日)

●平成26年度 インテリアプランナー試験案内申込書について

- 頒布期間：7月31日(木)～9月19日(金)
- 頒布場所：(一社)奈良県建築士会事務局
- 頒布価格：1セット 1,080円(消費税込み)
- 受付期間：8月1日(金)～9月19日(金)
- 受付場所：(公財)建築技術教育普及センター 本部
- 申込方法：受付場所(建築技術教育普及センター本部)へ郵送で
申込して下さい。
- 試験日：11月16日(日) 学科及び設計製図試験

※試験に関するお問い合わせ

(公財)建築技術教育普及センター 近畿支部 ☎06-6942-2214

●2014年度 会員名簿『業界案内』広告掲載募集!

現在2014年度会員名簿の業界案内広告掲載希望者を募集しています。
掲載資格は、会員が自己又は自己の所属する団体・企業の為にする広告に限らせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

1. 申込締切日：2014年7月31日(木)
 2. 広告料：業界案内：¥10,000円
 3. 発行部数：1300冊
 4. 広告料支払：会員名簿発送時に請求書を同封いたします。
- ※協賛店の募集も同時に受付けております。
※詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

●事務局休業日のお知らせ

(一社)奈良県建築士会事務局は、下記の期間をお盆休業日とさせていただきます。

8月13日(水)～8月15日(金)

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏 名	支部	〒	住 所 (自宅)	勤 務 先
山口直也	五條	638-0041	吉野郡下市町下市2974	設計室ウッディ・ハウス
藤井貴広	五條	648-0019	和歌山県橋本市あやの台一丁目48-1	フジアーキデザイン
京谷善夫	奈良	639-1134	大和郡山市柳六丁目42	奈良市都市整備部まちづくり指導室建築指導課
西谷研太	奈良	635-0833	北葛城郡広陵町馬見南2-12-20	(株)榎谷設計
安倍雅史	奈良			中村建設(株)
山口寛士	桜井	633-0012	桜井市狛316	(有)近畿内装
今西基晴	宇陀	633-1215	桜井市外山344番地-1 グランデール武島302号	今西工務店

平成26年度賛助会員

士会の各活動は次の方の賛助を得て行われています。

会 社 名	代 表 者	住 所	T E L
(株) 福 本 設 計	福 本 保 治	奈良市大宮町6丁目4番地の21	0742-34-2800
(株) 明 新 社	乾 昌 弘	奈良市南京終町3丁目464番地	0742-63-0661
(株) たかの建築事務所	鷹 野 仁 士	五條市本町1丁目7番11号	0747-22-3232
村本建設(株)奈良本店	市 岡 武	北葛城郡広陵町大字平尾11番地の1	0745-55-1151
奈良不二サッシ販売(株)	発 田 泰 弘	奈良市北之庄西町1丁目12番地の3	0742-62-4111
松田電気工業(株)	辻 修	大和高田市栄町4番33号	0745-52-1115
(株) 上 埜 タ イ ル	上 埜 喜 章	大和高田市築山117-1	0745-22-2306
奈良県建築協同組合	近 井 教 博	橿原市小綱町9-8	0744-22-5115
(株) 伸 構 造 事 務 所	中 本 明 博	香芝市瓦口2166番地	0745-71-2200
(株) イ ン テ コ	島 井 亮	奈良市三条本町1-86-4	0742-30-5655
(株) ラ ン ド ・ エ コ	清 水 芳 之	大和郡山市田中町818-4	0743-54-0418
(株) フ ジ テ ッ	下 田 博	奈良市山町645番地	0742-61-2277
(株) 浅沼組奈良営業所	大 西 宏 次	奈良市三条本町4番32号 中室ビル	0742-26-5225
トリスミ集成材(株)	貝 本 富 作	五條市住川町1297	07472-6-6662
(株) 奥村組奈良営業所	朝 日 務	奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル	0742-22-5001
(株) 洪 谷	洪 谷 守 浩	桜井市外山186-1	0744-43-1567
積水ハウス(株)奈良支店	西 岡 正	奈良市二条大路南一丁目2番33号	0742-35-7311
大 倭 殖 産 (株)	矢 追 盛 賢	奈良市藤ノ木台一丁目2番15号	0742-43-9191
(株) 木 村 建 設	木 村 昌 樹	天理市成願寺町208-1	0743-67-1703
(株) 総 合 資 格	西 添 方 史	奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル4F	0742-30-1511
共 同 精 版 印 刷 (株)	近 東 宏 佳	奈良市三条大路二丁目2番6号	0742-33-1221
TOTO(株)関西支社奈良営業所	南 川 卓 也	奈良市法華寺町190-1	0742-30-1086
(有) ア ユ ミ 建 工	野 邊 明	大阪府北区西天満3丁目4-28トータス西天満501号	06-6311-3131
(株) きん で ん 奈 良 支 店	西 村 博	奈良市大安寺6丁目20番8号	0742-62-8781
(株) 鍛冶田工務店奈良本社	柏 原 幸 嗣	御所市150番地の3	0745-65-2131
松 塚 建 設 (株)	松 塚 幾 善	宇陀市榛原福地610-1	0745-82-1371
(株) 建築資料研究社	三 舟 敏 彦	奈良市芝辻町2-10-16ことやビル2階	0742-34-8771
(株) 田 原 建 設	田 原 清 史	五條市二見1-1-4	0747-22-3591
(株) 都市企画設計コンサルタント	前 川 浩 二	橿原市北八木町1丁目1番8号橿原中央ビル	0744-23-7717
新 日 本 法 規 出 版 (株)	服 部 昭 三	大阪市中央区内平野町2-1-12	06-6947-0695
(株) 城田建築設計事務所	城 田 全 康	奈良市佐紀町1番地	0742-33-5585
(株) 中 尾 組	中 尾 隆 成	桜井市大字桜井553番地の1	0744-42-2500
(株) 榎 谷 設 計	中 元 綱 一	奈良市西ノ京町101番地の1	0742-34-1461
新 世 紀 建 工 (株)	山 本 佳 彦	香芝市下田西3-9-16	0745-77-4348
小松ウオール工業(株)大阪支店奈良営業所	植 松 純 平	奈良市法蓮町986-2	0742-26-5751
Y K K A P (株) 奈 良 支 店	濱 田 祐 三	磯城郡田原本町阪手661-1	0744-34-5577
奈良県瓦工事業協同組合	竹 田 茂 生	天理市遠田町45-11	0743-66-0331
(株) 中和コンストラクション	大 浦 基 嗣	桜井市大字桜井281番地の22	0744-42-9313
(株) 尾 田 組	尾 田 芳 信	奈良市高畑町738番地の2	0742-26-6011
ケイミュー(株)近畿営業開発室	藤 澤 仁	大阪府中央区城見1-2-27 クリスタルタワー13階	06-6945-8126

編集後記

先日横浜のマンションが傾き、住人に転居要請をしたという事故がありました。ちょうどその頃セウォル号沈没・集団的自衛権と大きなニュースが立て続けにあったので決して扱いは大きくなかった様に記憶しています。今回改めてネットで調べてみると、所在地は横浜市西区宮ヶ谷とあり、地名から平坦地ではない事が予想されました。そこで国土地理院の土地条件図等を調べてみると、宮ヶ谷は多摩丘陵から横浜低地に至る場所に位置し、敷地は周囲を急傾斜の斜面に囲まれた、切土によって整地した平坦地である事が分かりました。元々はジートランク型の社宅の様な建物が建っていて、その跡地に建てられたマンションの様です。ボーリング調査を行う場合、一般的に測定点は2～3ポイントでそこから支持層の流れを読み基礎設計するので、施工者のコメントにあった「事前調査では想定できなかった支持層の落ち込み」とはその想定した支持層の流れから大きく外れた部分が存在したという事だったのでしょうか。

地名に低地・水辺を連想させる文字が入

った場所は元々低地で軟弱地盤である事が多いと言われています。私が過去に経験した物件にも「谷」のつく地名での建替え物件で同様の地盤性状が確認された事がありました。興味深かったのは、その物件の場合たまたまボーリング調査データとは別にサウンディング調査データがあり、そのデータに支持層の急激な変化が表れていた事です。ボーリング調査とサウンディング調査の併用が有効である事を改めて認識させられました。

長年に渡る造成によって元来の地形が読みにくい場合は少なくありません。そのきっかけとして地名に着目するのは有用であり、今回の様な事故を防ぐ定石といっても良いのではないのでしょうか。我々の仕事は他業種と比べ、報酬に比して責任が極めて重い業種である様に思います。創造的な部分に力を注ぐためにも、効率よく確実に見落としを防ぐ事が大切であり、そういった情報を共有するための媒介となる事も本紙の様な地域に密着した情報誌に求められる役目ではないのでしょうか。

土 會 奈 良

通巻596号

平成26年7月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 瀧上 徳光
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

Calendar

2014年7月

- 1(火) 「建築士の日」
- 6(日) 二級建築士試験(学科)
- 21(月) ☒ 海の日
- 27(日) 一級・木造建築士試験(学科)
- 31(木) 平成26年度インテリアプランナー試験
案内申込書頒布開始(9/19まで)

Calendar

2014年8月

- 1(金) 平成26年度インテリアプランナー試験
申込書の受付開始(9/19まで)
- 13(水) 事務局お盆休業日(13日～15日迄)
- 26(火) 二級建築士試験(学科)合格発表
- 27(水) 平成26年度第2期定期講習(春日野荘)



平成25年度 1級建築士 設計製図試験



奈良県の合格者のおよそ6割は、
当学院の現役受講生でした。

奈良県
合格者
占有率

58.3%

奈良県合格者36名中、当学院現役受講生21名



平成25年度 2級建築士 設計製図試験

奈良県の合格者の
およそ2人に1人は、
当学院の現役受講生でした。

奈良県 合格者占有率

奈良県合格者61名中、
当学院現役受講生29名

47.5%

平成25年度 宅建本試験

当学院基準達成
現役受講生
合格率

82.9%

8割出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上
現役受講生252名中合格者209名

当学院基準達成
現役受講生
合格率

95.2%

8割出席・8割宿題提出
現役受講生230名中、合格者219名

当学院
現役受講生
合格者数

956名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

無料

体験入学会・講座説明会実施中!!

実績が証明した、当学院講座品質。ぜひ、体験してください。

1級・2級 建築士

1級・2級 建築施工管理技士

構造設計1級建築士

1級・2級 土木施工管理技士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター



総合資格学院

講座に関するお問合せ・資料請求はコチラまでお気軽に!

奈良校・橿原校

〒631-0822 奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

TEL.0742-30-1511

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索